



平成14年度事務事業評価結果

# 改革をすすめます

行政課 ☎66♦1155



蒲郡市では、苦しい財政事情の中、最少の経費で最大の効果を上げるために、昨年度から事業の見直しを行っています。その手法の一つとして、事務事業評価を行い、今年は、平成14年度に市が実施した776事業（医療関係を除く）の内、298事業の評価をしましたので、その結果をお知らせします。

## 事務事業評価とは…

市役所の各課で実施している事業について、PLAN（計画）—DO（実践）—CHECK（評価）—ACTION（改善）—PLAN（計画）のサイクルの中で、自己評価と改善を繰り返すシステムのことです。事務事業評価のために評価表を作成します。

## 評価表とは…

今まで感覚的にとらえていたそれぞれの事務事業について、事業の概要、投入した事業費・人員、その成果などについて、できるだけ数値を用いて客観的に表すものです。この評価表に基づいて市役所の行う事務事業の点検をします。

## 事務事業評価のねらいは…

行政活動を住民志向、成果志向に移行させようとするもので、次の3つを目的としています。

- 1 市民との行政情報の共有化
- 2 職員の意識改革
- 3 事務事業の見直し

## 評価の進め方は…

事務事業評価は昨年度から始め、昨年度は試行として、54事業を評価しました。今後は、全事業を1/3ずつ評価し、3年間で全事業の評価をする予定です。

## 評価の仕方は…

まず、事業を担当職員が評価をし、担当課長が点検をします。そのあと、担当部長が評価をします。別々に評価することにより、客観的な評価を目指しています。

## 評価の項目は…

事業の「達成度」「経済効率性」「事務効率性」「必要性」および「市民参加度」の5項目について、0点から3点の4段階評価とし、これらとは別にAからDの4段階評価の総合評価から成っています。